



北本高校の生徒が中丸小へ授業支援

北本市小・中・高相互交流事業(KISEP)
～Kitamoto Inter School Exchange Program～



理科の授業支援の様子(昨年)



写真データ提供可

体育の授業支援の様子(昨年)

北本市では、小・中・高校生が相互に交流する事業として、KISEP(キセツプ)(Kitamoto Inter School Exchange Program)を行っています。

本事業は、小学生の学習や活動に対する興味・関心・意欲等を高め、高校生においては社会参加意識やボランティア意識の醸成を目的としています。

今回は、中丸小の児童が、北本高校のお兄さんやお姉さんから学習支援を受け、普段の授業では味わえない喜びを感じ取ります。

北本市独自の特色ある開かれた教育活動として、小学生と高校生の笑顔いっぱいの事業です。

日 時

6月18日(木)7:40頃～

場 所

北本市立中丸小学校
(北本市宮内7-145)

時 間

7:40～ 8:00 【あいさつ運動】(正門、通学路上の主要交差点)

北本高校・騎西特別支援学校北本分校の生徒が、校門や通学路に立ち、登校中の中丸小児童と気持ちのよいあいさつを交わします。

内 容

9:40～12:25 【授業支援等】(10:40～12:25 4年生とのバレーボール)

各学級に高校生が数名出向き、教師の補助として授業支援をします。
3・4時間目の体育では、バレーボールを行います。

担当者コメント



授業の中で、課題に向き合うとき、個人でじっくり考えたり、グループで話し合ったり、発表し合ったりして学習を深めていきますが、その過程で、優しい高校生と一緒に考えたり、ヒントをくれたりして深い学びにつながっています。また、授業の中で見られるお互いの笑顔は、とても輝いています。ぜひ、間近をご覧ください。